

透析センターの特色

1989年4月に開業した岩切病院。

はじめは小さな規模からのスタートでしたが、地域のニーズを追い求めていく中で、患者さんの数は地域のニーズを超えて増加、その結果、人材や施設の拡充で今の規模にまで成長しました。

それは簡単な道のりではありませんでしたが、中嶋院長の『地域の患者さんの受皿をつくりたい。そして病気の初期の人から、リハビリで回復するまで、さらに病状が長期となってしまった患者さんまで、責任をもってサポートしたい。』という想いがあればこそ、ここまでたどり着くことができたのです。

私たち透析センターに限って言えば、思い起こせば1996年。当院に通っていた患者さんの「中嶋院長の下で透析を受けたい」という願いがすべてのスタートでした。

そのころ、透析設備も技術もない当院でしたが、それをきっかけに設備を充実させていき、2008年7月には南棟新館が完成し透析センターは30床に増床、2011年には51床へと増床しました。

そんな透析センターは、増床と同時にベッドの配置や血液浄化技術部の看護体制、臨床工学的なシステムなども一新し、全51床の内43床が多人数用透析装置、8床が個人用透析装置で3床が病棟透析になっています。そして、これらは2008年頃導入した透析支援システムによって管理されているのです。

また、スタッフ数は2018年8月現在、血液浄化技術部だけで27名を数えます。

そう、つまり、一人の患者さんの願いから始まった当院の透析センターは、今や。機能障害疾患、腎臓病をはじめとしたリハビリ医療と透析医療を2本柱としながら、患者さんのトータルケアに取り組めるようになってきているのです。

現在、透析センターのスタッフは、看護師10名、臨床工学技士12名、透析助手4名そして部長職の私で構成されています。勤務体制は、月～土の午前(7:30～9:00入室)、午後(11:30～13:00入室)の2クールで行われる透析時間に合わせて組まれているので、日曜は定休、他にも月3回の希望休取得と有休も消化でき、日常生活の計画性を考慮できる職場、子育て支援が充実した職場を実現。しっかりとサポート体制で、透析未経験でも働ける職場を心がけています。

そんな私たちにとっての一番のトピックは、オンラインHDF（血液透析濾過法）やI-HDF（間歇的血液透析濾過法）の導入です。特にオンラインHDF導入に伴いまず透液の清浄化を徹底。よりきれいな透液を作成するべく、人の操作をあまり必要としないうえ、細菌やウイルス侵入抑制の効果が最も高いとされる自動透液製作する機種を採用しました。さらに東北ではあまりないアンチエイジング効果があるといわれている電解透液水（水素水透析）も個人用透析機器2台でつかっています。これは魔法の水ともいわれ、疲労回復効果があるという論文もあるのです。

さらに、最近はフットケアなどの血液浄化以外の分野にも診療推進部を立ち上げ力を入れています。

具体的には、内視鏡補助業務、呼吸器疾患の診療支援、透析シャントインターベンション補助業務、シャント血管超音波検査、SPP末梢血流検査などです。

最後に、私たちはこうして様々な設備などの充実を手に入れましたが、そのモットーは変わりません。

そう、それは『患者さんのニーズにこたえる』ということ。

常に相手の目線から物を考え、多くの患者さんに選んでもらえる病院を目指し、心配りを当たり前のこととして、しっかりと患者さんの想いと願いにこたえていく。

そのはじめの一步が、たった一人の患者さんの願いから始まったように。

その願いに耳を傾け、実現させていくために愚直にできる事を実践し続けていく、そんな部署であることを第一に考えているのです。



透析センター（南棟2F）

血液浄化技術部長 尾形

基本理念

医療と福祉の総合的なサービスの提供を行うことにより、地域医療に貢献いたします。
医療と福祉を融合することにより、地域の皆様の信頼を得、安心を提供していける地域に密着した病院運営を行います。

グループホームデイジーのご紹介

皆さんこんにちは。

平成18年3月に開設しましたグループホームデイジーです。こちらは田子にあり、岩切病院及びその系列グループの施設とは車で10分程度の所に位置しています。道路を挟んで大手スーパー（鳩印）がありますので、すぐお分かりになるかと思えます。

さて、デイジーでは認知症のご利用者の方々と毎日の生活を送っています。

【利用者様一人一人に目を向け尊厳ある生活を送れるよう支援します。】と言う経営理念の基に行動しています。

また、ご家族様とのふれあいも大切にしており、年に6回の「ふれあいの会」を開催しております。日本三景の松島や水族館に足を運ぶ事や、施設の中での夏祭り、芋煮会、クリスマス会等の行事を組みご利用者、ご家族とのふれあいを大切にしています。

「デイジー」の花言葉は「無邪気」です。無邪気な笑顔あふれる施設を目指し、皆さまと共に歩み続けたいと職員一丸となり頑張っております。田子方面にお越しの際は是非お立ち寄りください。自家製ミニトマトをごちそうさせていただきます（夏限定）。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



今野施設長



グループホームデイジー



夏まつりの様子

編集後記

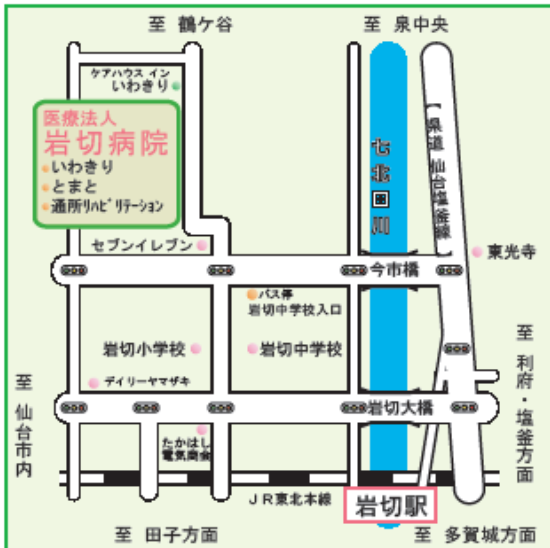
寝苦しかった夏が過ぎ、朝夕、涼しい風にほっとしている毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか？

北海道や関西方面で大きな災害があり、大変な思いをされている方が大勢いらっしゃると思います。少しでも早く“いつもの生活”を取り戻すことができるように祈らずにはられません。

地域医療連携室



Access



関連施設

通所リハビリテーション デイケア

TEL : 022-255-5141 / FAX : 022-255-5539

透析センター

TEL : 022-255-5149 / FAX : 022-255-2231

ケアプランセンター いわきり

TEL : 022-255-5132 / FAX : 022-255-5611

訪問看護ステーション とまと

TEL : 022-255-3066

- J R 仙台駅よりバスで約40分（岩切中学校入口下車）
- J R 岩切駅よりバスで約10分（岩切中学校入口下車）
- バス停「岩切中学校入口」より徒歩5分



〒983-0821 宮城県仙台市宮城野区岩切字稲荷21

TEL : 022-255-5555 (代) mail : info@iwakiri-hp.jp

FAX : 022-255-5581